

5月13日
参加者の声

第1回

菊池市の良いところや改善が必要なことなどを語り合い、「カイゼンシート」に記入しました。

若者が集まる場所

大学の誘致など若者にとって魅力あるまちに。

菊池川流域が日本遺産に

このチャンスを生かして全国に発信、観光誘致に。

菊池高校に生徒が来るように

生徒が集まるような特殊性を作り、人気が出るようにする。

少子高齢化、免許証返納対策を

高齢者が住み良いう、街中全体を高齢者ホーム化する。

文化や歴史の掘り起こしを

菊池のブランド化につながる。菊池に来ないと体験（食べ物など）できないようなこだわりを持ってほしい。



第2次総合計画「後期基本計画」策定のための市民ワークショップ

マチカフェ **MACHI-CAFÉ** を開催しました

現在、まちの将来像を描く総合計画の策定を進めています。市民のまちへの思いや、まちづくりのアイデアを計画に反映するため、未来の菊池市をみんなで語るワークショップを実施しました。

【問い合わせ先】企画振興課企画係 ☎0968(25)7250



「癒しの里きくち」を目指して
市民が意見交換

本市は、第2次総合計画に掲げる、安心・安全の「癒しの里きくち」を実現するための政策に取り組んでいます。

本年度は、平成30年度から4カ年の後期基本計画を策定予定で、市民と行政が協力しながら活動する「市民協働」の観点から、市民の「声」「思い」を計画に反映したいと考えています。昨年度は市民アンケートを実施し、本年度はさらに市民の意見や提案などを聴取するため、市民ワークショップを開催しました。

第1回は「まちづくりの改善点」、第2回は「これから4年間で目指すまちの姿」をテーマに実施。カフェにいるようなリラックスしながらまちづくりについて語り合いました。

まちづくりに興味のある幅広い年代の市民が参加し、市の明るい未来について思い思いの意見やアイデアを模造紙に記入。一人一人が意見を整理したシートを作成し、最後は、そのシートと模造紙をテーブルに並べ、みんなで見て回りました。

参加者からは「多くの人と市

の未来を考えることができても良かった」「継続して開催してほしい」などの声がありました。今回のワークショップやアンケートの意見などは、後期基本計画に盛り込んでいきます。



それぞれの思いが書かれたテーブルクロス代わりの模造紙とシート

総合計画とは

行政の施策の最上位計画で、市の特性や課題、時代の流れなどを的確に見極めながら、将来、市をどのようにしていくのか、どのような手法で取り組んでいくのかを総合的・体系的に取りまとめたものであり、市の将来を方向付けていく上で大切な計画です。

本市の第2次総合計画期間は平成27年度～33年度までとなっており、現在、第2次菊池市総合計画の「後期基本計画」を策定しています。

6月3日
参加者の声

第2回

第1回で語り合った「菊池のまちづくりで、ここの改善が必要」という内容をふまえて「後期計画で目指すまちの姿と、それを実現するための取り組み」というテーマで語り合いました。

市民の生活と観光がマッチングした都市型観光地

まちと自然が共存しているので、イベントや企画だけではなく、今あるものを生かして人を集める。神社仏閣、温泉、和菓子、農業などが連携し、菊池神社から御所通りを鶯鳴のような歩行者天国にして高齢者にアピールする。歩行者が危険なので、人のためにも整備された道路環境が必要。

生き生きと暮らせる街に

一人暮らしの高齢者や子育て中の母親などが気軽に立ち寄れる場所を増やして語り合う。

高齢者が必要とされる街

地域の空家や空き店舗を利用して、高齢者が気軽に集まって雑談できる場所を作り、そこで学校帰りで両親が共働きの子どもの面倒を見てもらう。

豊かさを実感(体感)できる街～菊池～

【きくち水旅(みずたび)】菊池深谷や竜門ダムでボート遊びから温泉を巡るツアー。【きくち畑旅(はたけたび)】菊池の特産品を盛り込んだ食を楽しむツアー。(畑仕事体験、有名店巡り、メディアの活用、ツアー企画の持ち込み)